

■変更のある部署名・・子育て・健康推進課／高齢者支援課(地域包括支援センター)の業務

山香庁舎 (1階) (子育て・健康) ☎0977-75-2400 (高齢者支援課) ☎0977-75-2402	本庁舎 (1階) (代表) ☎0978-62-3131	健康推進館 健康ふれあいプール (直 通) ☎0978-64-2540 (プール) ☎0978-64-0075
【概要】健康づくり事業を扱う係が、健康推進館に移ります。子ども手当や保育園を主管する係と、子育て・健康推進課の庶務や施設の管理を行う係が置かれます。	【概要】赤ちゃん健診や、子どもの健康相談、子どものワクチン接種などを扱う係は、健康推進館に移ります。包括支援センターで介護の相談ができるようになります。	【概要】赤ちゃん健診や、子どもの健康相談、子どものワクチン接種などを扱う係と、健康づくり事業を扱う係が健康推進館に移ります。

主な取扱業務 「赤字」部分は主担当ですが、どの庁舎でも業務を取り扱っています。

【子育ての支援】 子ども手当の取扱い 保育園入園申請 保育園の運営 放課後児童クラブの運営 など 子ども手当、保育園に関するお問い合わせは、「子育て応援室」☎0978-64-0075(直通)へ。 【市民の健康増進】 施設管理などの庶務 高齢者の予防接種 健康福祉センターの利用申込 献血 など 【介護全般】 介護保険に関する申請・手続 包括支援センターの業務全般 ・介護予防の相談 ・介護認定の相談 など (子育て・健康推進課) 子育て応援室 企画管理係 (高齢者支援課) 介護保険係 高齢者福祉係 包括支援センター	【子育ての支援】 各業務の申請・手続受付 【市民の健康増進】 各業務の申請・手続受付 【介護全般】 介護保険の申請・手続受付 包括支援センターの業務 ・介護予防の相談 ・介護認定の相談 など ※包括支援センターのサブセンターが新設されます。 (子育て・健康推進課) (高齢者支援課) 窓口係 新設 包括支援センター	【子育ての支援】 赤ちゃん健診全般 赤ちゃん訪問 子どもの予防接種 不妊治療の相談 母子健康手帳の交付 など ※本庁舎・山香庁舎で母子手帳交付を希望される場合は、事前にご連絡ください。 【市民の健康増進】 がん検診の実施 健康教室 健康相談 など プールに関するお問い合わせは☎0978-64-0075まで 移動 (子育て・健康推進課) 子ども健康係 市民健康係
---	---	--

杵築市が、元気な子どもの育つまちになるために、感染症の蔓延をどのように予防すべきか、今月号からシリーズで学びます。1回目は、大分大学医学部地域医療・小児科分野担当教授（日本小児科学会予防接種・感染対策委員）の松聖悟先生に、今、全国的な流行がみられている風しんについて、杵築市の現状をふまえながらお話を伺います。

風しん

風しんとは、
どんな病気ですか？

ピンク色の発しん、発熱、リンパ腺の腫れが生じる感染症です。

いわゆる「三日ばしか」と聞いています。
3日で治るのでは？

多くは1週間以内に治りますが、妊婦さんがかかると、脳や心臓や、聴力、視力に異常をもった胎児（先天性風疹症候群）が生まれてしまうことがあります。例えば妊娠1か月以内の感染では2人に1人の胎児がこの病気になるかとされています。また、子ども大人も、3千人に1人の頻度で血小板減少症という、鼻血がとまらなくなり、ときに脳内出血を起すことがあります。さらには、

6千人に1人の頻度で脳に障害が生じる急性脳炎という、死にいたる可能性のある病気を併発します。

では、治療法は？

残念ながら有効な治療法はありません。かかってしまった場合、早くに病院を受診しても、合併症を予防することは困難です。

最も有効な予防法は何でしょうか？

発病した人を隔離する必要があります。しかし、風しんは発病1週間前から他人に感染させます。咳やくしゃみを介して、またはそれらが付着したものを触れることによって、感染するので、隔離や手洗い、健康な人がマスクをしてても限界があります。

流行させないために
どうすればよいので
しょうか？

予防接種です。今、流行の中
心にある成人男性は、子どもの

【市民の健康増進】

がん検診の実施

健康教室

健康相談

など

プールに関するお問い合わせは
☎0978-64-0075まで

移動 (子育て・健康推進課)
子ども健康係
市民健康係

【介護全般】

介護保険の申請・手続受付

包括支援センターの業務

・介護予防の相談

・介護認定の相談 など

※包括支援センターのサブ
センターが新設されます。

【市民の健康増進】

施設管理などの庶務

高齢者の予防接種

健康福祉センターの利用申込

献血 など

【介護全般】

介護保険に関する申請・手続

包括支援センターの業務全般

・介護予防の相談

・介護認定の相談

など

任で、子ども達が苦しむことのないように、予防接種を受けさせてあげてください。

予防接種の時期を逃した場合、どうすればよいのでしょうか

無料の時期を過ぎた場合は有料となりますが、全ての人に2回の予防接種をお勧めします。過去の接種歴を確認してください。なお、妊娠可能な女性には予防接種後2か月の避妊が必要です。

予防接種は副反応がある
ので心配です

MRワクチンの副反応として、1%の頻度で発熱が、100万人に1人程度の頻度で血小板減少症が、1000150万人に1人以下の頻度で急性脳炎が報告されています。かかった時に生じる合併症の頻度よりも明らかに低いのですが、より安全に接種するために、かかりつけ医や小児科専門医にご相談ください。自分だけでなく、皆さんの大切な人達を守るためにも、地域社会で感染症を予防することが大切です。